



発行：事務局 〒162-0066  
東京都新宿区市谷台町 14-5  
MSビル市ヶ谷台1F

編集：全難聴事務局  
電話：03 (3225) 5600  
FAX：03 (3354) 0046  
URL：<https://www.zennancho.or.jp>  
E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

## ↑ 国交省バリアフリー政策課 テーマ別意見交換会

12月5日(火)、国土交通省総合政策局バリアフリー政策課関連でテーマ別意見交換会が開催されました。

参加団体は、DPI日本会議、日本身体障害者団体連合会、日本視覚障害者団体連合、全日本ろうあ連盟、全難聴、全国手をつなぐ育成会連合会、日本発達障害ネットワーク、全国精神保健福祉会連合会、認知症の人と家族の会、全国老人クラブ連合会で、全難聴からは小川理事が出席しました。

以下、概要と全難聴からの発言内容、ご報告します。

### 【テーマ】

- 1 ネットICTのアクセシビリティについて
- 2 ホーム上駅名標示の視認性
- 3 ホーム上の乗車位置の確認について
- 4 経路上の障害物・インターホンのアクセス

全難聴から提出した意見は、下記のとおりです。

#### 1 ネットICTのアクセシビリティについて

・高齢者用のスマホがあるが機能制限があり、聞こえにくい人に役立つアプリを入れて支援しようとしても、使いにくくて役立たないことがあります。そもそも使っていない人も多いです。

・交通事業各社が自社のアプリ開発につとめているが、フォーマットがまちまちで、慣れない人は混乱します。次世代交通サービスMaas (Mobility as a service) ではフォームを統一して、使い回しやすくしてください。

#### 2 ホーム上の駅名標示の視認性

ホームの駅名標示は、聴覚障害者にとって重要だが、最近駅名表示が目立たなく、気づきにくくなりました。実際に減っているかは確認できていないが減らさないでください。

また、夜でも見やすくしてください。初めて利用する駅で駅名表示の確認は必須です。

#### 4 経路上の障害物・インターホンのアクセス

非常ボタンは、駅員との応答が必要なタイプがある。以前、京王線新宿駅でドアに人が倒れたとき、止めようとしたがインターホン式であったため往生しました。

緊急時は当事者でも安心安全に止められるようにすべきです。

国交省の無人駅ガイドラインには、阪急・阪神のモニター付き・カメラ付きのインターホンが載っているが、そういった好事例が参照されておらず、必要性も理解されていない、という事態にあります。

## 📌 JDF 全国フォーラム

12月6日（水）、13：00から、JDF 全国フォーラムがオンライン配信で開催されました。

新宿区にある戸山サンライズをメイン会場とし、主な登壇者はこちらに参集しており、対面開催のような会場レイアウトでしたが、一般の参加者はオンラインで視聴いただくという形で催され、約200名の参加がありました。

阿部一彦氏（日本障害フォーラム代表）の挨拶から始まり、基調講演は、「障害の社会モデルと人権モデル その関係と考え方」と題して、アンハラッド・ベケット氏（英国・リーズ大学社会学、社会政策学部教授）でした。後半は、パネリスト（と指定発表者）が登壇し、「総括所見を踏まえた条約の実施 その取り組みと課題～各地域／領域の実践から考える」と題してパネルディスカッションが行われました。コーディネーターは全難聴の南国際部副部長が務め、総括所見を分かり易くまとめた冊子の紹介や、2024年1月には条約批准10年目ということでイエローリボンを一層広めていきましょうとコメントしました。参加者のアンケートを拝見しましたが、当フォーラムへの期待がとても大きいことがうかがえます。

## 📌 ニーズ・シーズマッチング交流会 in 大阪・東京

（公財）テクノエイド協会が主催しているイベントで、ニーズ（障害者の要望など）とシーズ（開発メーカーや団体など）のマッチング強化を図り、より良い支援機器の開発に繋げることを目的として開催されています。全難聴も当事者団体としてブース出展し、耳マークのPRや当事者目線で情報の発信をしています。

全難聴からは本山理事、小川理事、谷口理事のほか、大阪府難聴協会会員からも展示要員としてご協力をいただきました。

11/27から29日の大阪開催では520名（昨年は338名）、今年は特に、ニーズ側の方々に多くご来場いただけたそうです。

12/12から14日の東京開催では出展者・関係者を含めると660名（昨年は419名）の方々にご来場いただきました。

## 📌 要約筆記者指導者養成研修運営委員会

12月19日、要約筆記者指導者養成研修運営委員会が開催され、宿谷理事長が出席しました。

来年度の要約筆記者指導者養成講座の一環として、かねてより全難聴要約筆記部の念願でもありました「難聴講師ステップアップコース」を新設する方向で決定いただきました。この講座の正式名称は、今後、聴力障害情報文化センター事務局で検討されます。

日程は、9月14日（土）から16日（月・祝）の3日間の予定で、戸山サンライズでの対面方式となる見込みです。実現に向けては、厚労省や全要研の後押しもいただいています。

ステップアップコースの受講により、講義の組み立て方や効果的な教材・資料の作成に向けての成果が期待できるものと考えています。

なお、健聴者（登録要約筆記者）のステップアップコースは、オンラインで実施される予定です。

## 📌 JDF 政策委員会

12月12日に標記の委員会が戸山サンライズ（新宿区）を対面会場にハイブリッド形式で開催され、全難聴からは瀬谷副理事長、南国際副部長、小谷野国際部員が出席しました。主な議題は、国連権利委員会の動きについて、地域フォーラムの開催について、障害者基本法改正について、総括所見の分析と行動計画についてなどです。

第1回審査から第2回審査に向けて活動に関する諸外国の取り組みを学ぶ機会については、韓国の崔さんから条約履行状況について説明がありました。

来年1月9日には、台湾の林君潔（リン・チュンチェ）さんから、同様にお話を伺う予定となっています。

## 📌 令和5年度 障害者110番事業研修会

12月20日、AP東京丸の内をメイン会場にハイブリッド方式で開催されました。

メイン会場（対面）に16名、オンラインで65名の参加があり、全難聴からは小倉事務局長、宮本忠理事、南国際部副部長が出席しました。

阿部一彦氏（中央障害者社会参加推進センター会長）の開講あいさつの後、次の2名の方の講演がありました。①「山形県における県及び市町村の差別解消条例制定の取り組み」講師：安部 眞 氏（社会福祉法人山形県身体障害者福祉協会会長）、②「改正障害者差別解消法の施行に向けた課題と展望について」講師：田中 申明 氏（弁護士、日本障害フォーラム（JDF）政策委員会委員長）

## 📌 国連障害者の権利条約推進議員連盟総会

12月20日、衆議院の議員会館にて標記の催しが開催され、全難聴からは新谷監事が出席しました。省庁側からは、内閣府、法務省、外務省、文部科学省、こども家庭庁、厚生労働省が出席し、障害者団体からは、全難聴以外に日視連、全日本ろうあ連盟、JDF、DPI日本会議など8団体が参集し、総出席数は30名ほどでした。

小野寺会長のあいさつの後、外務省、内閣府、厚労省が国連障害者権利委員会の総括所見を受けての対応を添付資料に沿って説明しました。

そのあと、各団体よりの意見発表があり、JDFを代表しJD藤井代表が下記3点の意見発表を行いました。

- ①障害者基本法の改正から12年経つが、総括所見を踏まえた改正を図ってほしい。
- ②基幹統計について、障害者比較の可能な統計の取り組みを。
- ③田門さんの権利委員会選挙当選を目指して、一体となった取り組みを。

これに対して、②について、内閣府から2022年度基礎調査はアウトプットが不十分なので、どのような公表が適切か検討中、との回答がありました。

全難聴からは、「総括所見では、条約1-4条について委員会が障害の医学モデル（機能障害及び能力評価に基づく障害認定及び手帳制度を含む）の永続を懸念し、障害認定及び手帳制度を含め、障害の医学モデルの要素を排除するとともに、法規制を見直すこと」と勧告しているが、厚労省のそれへ対応は？と質問したところ、障害者手帳についての法改

正は現在検討していないとの回答でした。

これに対しては議連議員からも「医学モデルにこだわると話が進まない」「現在の障害者の定義では、あてはまらない人が漏れてしまう。再検討を。」などの意見が出ていました。最後に田門弁護士より障害者県委員会への立候補の決意表明があり、参加者全員がこれを支援していくことを確認して、議連を閉会しました。

## 📌 JDF 幹事会

12月26日、今年最後の幹事会がオンラインで開催され、全難聴からは小倉事務局長が出席しました。

今月、総括所見啓発用冊子が販売されましたが、より低年齢層や知的に障害を持つ方々への啓発を図るため、さらに分かり易い啓発用冊子の制作を計画しているとのことです。

今後の予定としては、1月23日に「全国知事会との事務レベル意見交換会」が実施されます。差別解消をテーマに、知事側から福島県、長野県、兵庫県から事例紹介があり、JDF側からは、全国手をつなぐ育成会、日本障害者協議会、全日本ろうあ連盟の3団体から、それぞれの取り組み紹介がされる予定です。

## 📌 理事・専門部の動き（12/1～12/28） ※専門部は対外的活動のみ掲載

- 12月5日 国交省「特性に応じたテーマ別意見交換会」[ONLINE](#)（小川）
- 12月6日 日テレアックスオン様と面談（小倉）
- 12月6日 JDF全国フォーラム（コーディネーター：南、スタッフ：小倉、宮本忠）
- 12月9日 国際部会議 [ONLINE](#)（宮本忠、瀬谷、南、小谷野）
- 12月11日 「情報アクセシビリティ好事例 2023」候補製品・サービスの審査（小川）
- 12月12日 JDF政策委員会[ハイブリッド](#)（南、瀬谷、小谷野）
- 12月12～14日 ニーズ・シーズマッチング交流会 2023 in 東京（本山、小川）
- 12月16日 ネパール支援プロジェクト [ONLINE](#)（瀬谷、宮本忠、南、小谷野）
- 12月19日 要約筆記者指導者養成研修運営委員会 [ONLINE](#)（宿谷）
- 12月19日 総合リハビリテーション研究大会実行委員会（南）
- 12月20日 国連障害者ノ権利条約推進議員連盟総会（新谷）
- 12月20日 日身連「障害者 110 番事業研修会」[ハイブリッド](#)（小倉、宮本忠、南）
- 12月28日 JICA東京とネパール支援プロジェクト [ONLINE](#)（瀬谷、宮本忠、南）

## 📌 1月の予定

- 1月6日 全要研との定期協議会
- 1月9日 JDF政策委員会[ハイブリッド](#)
- 1月16日 JDニュー・イヤー交流会（新年会）
- 1月19日 情報コミュニケーション4団体連絡会[ハイブリッド](#)
- 1月20日 全難聴「令和5年度要約筆記者事業研修会」[ONLINE](#)
- 1月20日 ネパール支援プロジェクト [ONLINE](#)
- 1月23日 JDFと全国知事会との事務レベル意見交換会 [ONLINE](#)
- 1月23日 JDF幹事会[ハイブリッド](#)
- 1月28日 第4回きこえの懇談会[ハイブリッド](#)

【年末年始の事務所休業日のお知らせ】

2023年12月29日（金）～2024年1月8日（月・祝）